

第4学年 海洋教育の重点

＜全体目標＞

海の環境や資源，海を取り巻く人や社会とのつながりについての関心を高め，海と共生しようとする考え方と行動力を身に付けた児童を育成する。

＜目指す児童の姿＞

安心・安全で環境に優しい町づくりという視点で海と人との関わり方を見つめ直すことを通して，持続可能な地域の発展について自分の考えを持つ児童

＜実現を目指す SDGs＞



＜柱となる単元＞

【総合的な学習の時間】
防災マップをつくろう
～防災・減災のために
できること～

＜主な学習活動例＞

- ・ 備蓄倉庫の中身の調査
- ・ 市役所危機管理課の方からの講話
- ・ 東日本大震災時の学区内の被害状況の整理
- ・ 大島と唐桑の校外学習（海岸線の様子の調査）
- ・ 学区内安全点検の実施
- ・ 防災マップの作成
- ・ マップ活用方法の構想
- ・ 防災マップ発表会の計画と実施

＜社会科＞

- ・ 火事からくらしを守る
- ・ 地震からくらしを守る
- ・ 事故や事件からくらしを守る
- ・ 水はどこから
- ・ ごみの処理と利用
- ・ きょう土の発展につくす
- ・ 県の広がり
- ・ 特色ある地域と人々のくらし
- ・ 世界とつながるわたしたちの県

＜総合的な学習の時間＞

- ・ 自然災害への備え
- ～東日本大震災から学ぶ～

＜算数科＞

- ・ 折れ線グラフと表

＜理科＞

- ・ 月や星の動き
- ・ 水のすがたと温度
- ・ 自然の中の水のすがた
- ・ 物のあたたまり方

＜体育科＞

- ・ 水泳（着衣水泳）

＜特別の教科道徳＞

- ・ ふるさとを守った大イチョウ

＜特別活動＞

- ・ 防災クラブの活動紹介
- ・ 地震対応避難訓練
- ・ 毎月11日の防災タイム

＜探究活動のキーワード＞

- 社会科…… 「消防団」・「マイクロプラスチック」・「リアス海岸」・「流通」・「東日本大震災」・「復興」
- 理科…… 「満潮・干潮」・「海水の温度」・「けあらし」・「循環」・「暖流と寒流」・「潮目」
- その他…… 「災害公営住宅」・「仮設住宅」・「避難所とその運営」・「避難所運営ゲーム（HUG）」

教科・領域	単元名・活動名等	海洋教育と関連した学習活動
社会科	火事からくらしを守る	東日本大震災が発生したときに、全国の消防や自衛隊、地域の消防団が連携して対応したことを知る。
	地震からくらしを守る	学区内にある避難所や津波避難ビルの位置を地図に整理する。
	事故や事件からくらしを守る	安全な町づくりのために地域の人たちが協力し合っていることを整理し安全マップを作る。
	水はどこから	終末処理場の役割を調べる。教科書p. 70～71の図を気仙沼市に当てはめて完成させる。
	ごみの処理と利用	海岸清掃をした5年生の感想を聞く。マイクロプラスチックごみの増加問題を知る。
	きょう土の発展につくす	猪狩新兵衛の業績を調べ、気仙沼市の養殖業の歴史を知る。
	県の広がり	県内の海岸線の形に着目し、地形によって土地の使い方や産業の様子が異なることに気付く。
	特色ある地域と人々のくらし	海沿いの市町村の様子を調べて比較し、気仙沼市との共通点・相違点を探す。
	世界とつながるわたしたちの県	日本の代表的な貿易港の位置を地図に書き込み、その港と気仙沼港のつながりを調べる。
算数科	折れ線グラフと表	直近の1年間の海水の平均温度、過去100年間の海水の平均温度を折れ線グラフに表す。 (東京大学海洋アライアンス海洋教育促進研究センターに資料提供を依頼する)
理科	月や星の動き	月の引力が潮の満ち引きを発生させていることを知る。
	水のすがたと温度	海水の平均温度を調べ、水は空気よりも温まりにくく冷めにくいことを知る。
	自然の中の水のすがた	気仙沼湾のけあらしの様子を観察し、なぜけあらしが発生するのかを考える。
	物のあたたまり方	南国の海が蒼く見えることをお湯と水を使った実験をとおして考察する。
体育科	水泳(着衣水泳)	身に付けている物やペットボトルを使って長時間浮く体験をする。
特別の教科道徳	ふるさとを守った大イチョウ	気仙沼市民から大切にされてきた「人・物・事」を話し合う。
総合的な学習の時間	自然災害への備え	東日本大震災が発生したときの被災状況や心労を地域の方や家族から聞き取る。
特別活動	防災クラブの活動紹介	身近な物を使った防災グッズの作り方やサバイバル飯作りの経験を学級内で共有する。
	地震対応避難訓練	津波が発生したときの適切な行動を知り、通学路の高台を確認する。
	防災タイム	津波が発生したときの適切な行動を知り、通学路の高台を確認する。

第5学年 海洋教育の重点

＜全体目標＞

海の環境や資源，海を取り巻く人や社会とのつながりについての関心を高め，海と共生しようとする考え方と行動力を身に付けた児童を育成する。

＜目指す児童の姿＞

海で起きている様々な環境問題を調べることを通して自分たちの生活や水産業の課題を見だし，海の環境保全に主体的に関わりながら，海と人との共生を目指そうとする児童

＜実現を目指す SDGs＞



＜社会科＞

- ・世界の中の国土
- ・国土の地形の特色
- ・低い土地の暮らし
- ・国土の気候の特色
- ・温かい土地の暮らし
- ・寒い土地の暮らし
- ・水産業のさかんな地域
- ・これからの食料生産とわたしたち
- ・これからの工業生産とわたしたち
- ・わたしたちの生活と森林
- ・環境を守るわたしたち
- ・自然災害を防ぐ

＜柱となる単元＞

【総合的な学習の時間】
海と人との
共生について考えよう

＜主な学習活動例＞

- ・魚市場見学
- ・水揚げされる魚と漁獲量の調査
- ・海岸散策と海岸清掃
- ・沿岸部に生息する魚の調査
- ・水揚げされる魚を使った調理実習
- ・地元の水産加工会社や卸売り業者の方の講話
- ・復興スローガン「海と生きる」を紹介するポスターの作成
- ・海洋ミニサミットの開催

＜理科＞

- ・天気の変化
- ・魚のたんじょう
- ・台風と天気の変化
- ・流れる水の働き
- ・物のとけ方

＜体育科＞

- ・水泳（着衣水泳）

＜特別の教科道徳＞

- ・イルカの海を守ろう

＜特別活動＞

- ・野外活動
- ・地震対応避難訓練
- ・毎月11日の防災タイム

＜総合的な学習の時間＞

- ・海を生かした地域の産業
～養殖業の今と昔～

＜探究活動のキーワード＞

- 社会科…… 「領海・EEZ」・「乱獲」・「海水温度」・「森は海の恋人活動」・「赤潮」・「貿易」・「東日本大震災」・「復興」
- 理科……… 「地球温暖化」・「(植物) プランクトン」・「食物連鎖」・「死海」・「汽水」
- その他…… 「養殖業 (カキ・ホヤ・ワカメ)」・「ブナ林」・「循環」

教科・領域	単元名・活動名等	海洋教育と関連した学習活動
社会科	世界の中の国土	国土の周りの4つの海の名前を調べ、東西南北の端に当たる島を調べる。
	国土の地形の様子	日本の国土面積とEEZの広さを外国と比較する。(国土は世界61位、EEZは世界6位)
	低い土地の暮らし	水害を減らすための設備や住居の特徴を調べる。
	高い土地の暮らし	新鮮で安全な高原野菜を全国に届ける工夫を調べ、魚介類の輸送と比較する。
	国土の気候の特色	太平洋側で夏に雨が多いこと、日本海側で冬に雪が多いことの原因を調べる。
	温かい土地の暮らし	沖縄の海が蒼く見える理由を海水の温度差に触れながら説明する。(4年理科との関連)
	水産業のさかんな地域	気仙沼市の水産業の特色を調べ、長崎との共通点や相違点を明らかにする。
	これからの食料生産とわたしたち	食料生産と環境の関わりについて、海を例に調べてまとめる。
	これからの工業生産とわたしたち	工業製品の輸送のために、どの地域とどの地域が海で結び付いているのかを調べる。
	わたしたちの生活と森林	自然界における森林の役割を知り、森は海の恋人活動について調べる。
	環境を守るわたしたち	H30の西日本豪雨の被害とツバルの居住地水没問題の共通点を調べる。
自然災害を防ぐ	過去の地震や津波の歴史を振り返り、市内の防潮堤の建設状況を調べる。	
理科	天気の変化	地球上の水の循環の様子を図にまとめる。
	魚のたんじょう	メダカの食べ物を観察し、淡水や海水に生息する植物プランクトンを調べる。
	台風と天気の変化	勢力が弱まらない大型の台風の発生の理由を調べる。
	流れる水の働き	浸食・運搬・堆積の様子を「森・川・海のつながり」を意識して図にまとめる。
	物のとけ方	飽和食塩水を作って身の回りの物を浮かべてみる。
体育科	水泳(着衣水泳)	身に付けている物やペットボトルを使って長時間浮く体験をする。
特別の教科道徳	イルカの海を守ろう	海の環境を守るために自分たちにできることや気仙沼市が取り組むべきことを考える。
総合的な学習の時間	海を生かした地域の産業	「みやぎの先人集」を活用して養殖業が発展してきた歴史を調べる。
特別活動	野外活動	豊かな自然と触れ合い、自然環境を守ろうとする意欲を持つ。
	地震対応避難訓練	津波が発生したときの適切な行動を知り、通学路の高台を確認する。
	防災タイム	津波が発生したときの適切な行動を知り、通学路の高台を確認する。